

# 「岡本医学雑誌 (OMJ)」投稿規定

## 1. 「岡本医学雑誌 (OMJ)」の目的

本誌は、社会医療法人 岡本病院（財団）に所属している職員とその関係者の学術研究活動の向上をはかるため、論文および研究活動報告についての学術誌を発行し、岡本病院憲章の実現に資することを目的とします。

## 2. 刊行形態

本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて随時公開します。公開された報告、論文は1年分を取りまとめ、冊子体として毎年1巻を刊行します。

## 3. 投稿資格

筆頭著者は、原則として社会医療法人 岡本病院（財団）に所属する職員とその関係者に限ります。ただし、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではありません。

## 4. 投稿および掲載区分

1) 投稿論文は、以下のいずれかの区分とします。

〔総 説〕 医学およびその関連領域に関する特定の主題について、これまでの知見、研究業績を総括し、体系化あるいは解説した論文。原則として編集委員会が執筆を依頼します。

〔原 著〕 医学およびその関連領域に関するもので、独創性・新規性があり、かつ、学術的に価値ある事実あるいは結論を含む論文。

〔短 報〕 データ数や文献的考察が少なく、原著にまとめるまでに至らないが、学術的に意義のある知見に富んだと認められる論文。

〔症例報告〕 特定の患者の疾患、治療などについて臨床的に公表意義の高い症例についての報告。

〔実践報告〕 特定の施設あるいは特定の地域における医学およびその関連の領域に関する実践活動の報告。

〔記録・報告〕 CPC の記録、学会・講演・セミナー・研修・見学などの報告。

〔その他〕病院の運営、活動紹介など編集委員会が掲載に値すると認めるもの。

- 2) 重複投稿の禁止：投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限り、学会や研究会で発表した抄録についてはこの限りではありません。

## 5. 言語

投稿言語は、日本語あるいは英語とします。

## 6. 倫理的配慮

投稿論文の研究は、関連した法規、指針、ガイドラインを遵守しなければなりません。ヒトを対象とした論文は、世界医師会総会において承認されたヘルシンキ宣言（2013年に修正）の精神に基づいて行われたものであることが必要です。とくに、症例報告、CPCなど患者を対象とした報告については、本誌投稿論文における研究対象者の個人情報保護に関する申し合わせに留意してください。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」など、国の定める医学研究に関する指針を遵守し、当該施設などの関係する倫理委員会などの承認を得て研究を行ったことを論文中に明記してください。

## 7. 採否・掲載順位

- 1) 投稿原稿については複数の査読者の意見をもとに検討し、その採否を決定します。
- 2) 編集委員会の判定により、掲載区分の変更を著者に求めることがあります。
- 3) 掲載順位は編集委員会で決定します。ただし、掲載は受理順を原則とします。

## 8. 利益相反

投稿論文の研究について、著者全員が利益相反に関する「臨床試験及び臨床研究に係る利益相反（COI）自己申告書」（別紙1）を提出してください。

## 9. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権、複製権、上映権、譲渡権、翻訳・翻案権、公衆送信権はすべて社会医療法人 岡本病院（財団）に帰属します。

## 10. 掲載費用

- 1) J-STAGEでの掲載、冊子体にあたって著者の負担はありません。

2) 別刷は著者校正の際に注文が可能で、別刷の著者負担はありません。

## 11. 著者校正

著者校正は原則として初校のみとします。校正は印刷ミスのみについて行い、本文、図表の大幅な変更は認めません。なお、投稿者が連名の場合は、連絡著者に校正原稿を送付します。

## 12. 投稿原稿の受付・問合せ

新規の投稿原稿は WEB 投稿フォーム（下記 URL）にて受け付けます。原稿の電子ファイルは3個以内、ファイル容量は合計6MB以下とします。4個以上ファイルを送信する場合はフォルダにまとめ、1ファイルに圧縮して送信してください。WEB 投稿フォームでの投稿が困難な場合は、出力原稿1部およびデータを保存した電子媒体（USB等）を編集事務局宛に提出してください。

〈WEB 投稿フォーム〉

<https://www.okamoto-hp.or.jp/oka2/about/omj.html>

〈原稿送付先・問合せ先〉

編集事務局： 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口 100 番地

京都岡本記念病院教育センター「岡本医学雑誌(OMJ)」編集事務局

E-mail: [omj-office@okamoto-hp.or.jp](mailto:omj-office@okamoto-hp.or.jp)

TEL: 0774-48-5511（直通）

### 1. 原稿チェック票

投稿に際し、原稿チェック票を本誌 Web サイト (<https://www.okamoto-hp.or.jp/oka2/about/omj.html>) から入手し、提出する原稿に漏れがないかチェックしてください。

### 2. 原稿様式

- 1) 原稿は、定められたテンプレートファイルを用いて作成し、数字、記号は半角文字を用いてください。
- 2) テンプレートには総説、原著・短報・実践報告、症例報告、記録・報告・その他がありますので正しく使用してください。
- 3) 図（グラフ、写真を含む）や表は本文中に挿入し、なおかつ本文末に1枚ずつそれぞれ別紙に添付してください。いずれも明瞭なものとしてください。
- 4) 電子付録（Supplementary materials）については、著者の申し出があり、かつ編集委員会が適当と判断する場合、J-STAGE に掲載することができます。電子付録がある場合は、本文の最後（利益相反の後）に「この論文の J-STAGE オンラインジャーナル版に電子付録（Supplementary materials）を含んでいます」と記載してください。

### 3. 原稿の長さ

- 1) 原稿は原則として、本文、図表を含めて、「総説」、「原著」は A4 判用紙 16 枚（A4 判用紙 1 枚に 40×20 文字とし、約 12,800 字：本誌刷り上がり 8 ページ相当）以内とします。「短報」、「症例報告」、「活動報告」その他はそれぞれ 12 枚（6 ページ相当）以内とします。
- 2) 図、表は原則としてそれぞれ 1 点を A4 判用紙 0.5 ページとみなします。

### 4. 用語

- 1) 新かな遣いを用い、本文中の外国人名・地名は原語あるいは英語を用い、薬品名は原則として一般名で書いてください。特定の薬品、機器・材料などを記載するときは、商品名、商標または登録商標であることを明示してください。一般名と

併記する場合は、一般名を優先し、商品名等をカッコ内に示してください。

2) 論文中で繰り返される語は略語を用いて差し支えないですが、初出の際には省略せずスペルアウトしてください。

3) 度量衡はSI単位系 (mm, cm, mL, dL, mg, kg など) を用いてください。

## 5. 利益相反

本文の最後 (参考文献の前) に、「利益相反」として必要事項を以下の例を参考にして記載してください。

1) 開示すべき利益相反がない場合

【記載例】 発表内容に関連し、開示すべき利益相反はない。

2) 開示すべき利益相反がある場合：著者名と開示する内容を記載してください。

【記載例】 発表内容に関連し、開示すべき利益相反を以下に示す。

1. 役員・顧問：あり (著者名, XX 製薬)
2. 株保有状態：あり (著者名, XX 製薬)
3. 特許使用料：あり (著者名, XX 製薬)
4. 講演料：あり (著者名, XX 製薬)
5. 原稿料：あり (著者名, XX 製薬)
6. 受託研究費・共同研究費・奨学寄付金：あり (著者名, XX 製薬)
7. 寄付講座所属：(著者名, XX 製薬)
8. 旅費・贈答品：あり (著者名, XX 製薬)

## 6. 参考文献

参考文献は本文と直接関係のあるものに止め、本文中で引用する都度、順次上付きの算用数字で番号を付け、参考文献欄に番号順に列挙してください (バンクーバー方式)。附録の記載例を参考にしてください。

## 7. 原稿データフォーマット

原稿データは以下のフォーマットを推奨します。ファイル名は半角英数字のみを用いて付け、ファイル名にスペース、ピリオド、①②などの丸囲み数字、I, IIなどの全角ローマ数字は使用しないでください。ファイル数の制限 (原稿チェック

票を除いて2個以内)があるため、複数の図表は Excel のシートに分けて作成するなど、1つのファイルにまとめることが望まれます。

本文：Microsoft Word 形式（テンプレートファイルを入手して使用すること）

表：Microsoft Word 形式，または Microsoft Excel 形式

図（グラフ・写真）： Microsoft PowerPoint 形式， Microsoft Word 形式（ファイルに貼り付ける場合は解像度に留意すること）

※解像度については以下の設定が望ましい。

〔写真〕 仕上がりサイズ 300 dpi    〔線画〕 仕上がりサイズ 1000 dpi

不明な点は編集事務局にお問い合わせください。

## 8. 査読者の推薦

希望する場合は2名の査読者を明記してください。回避したい査読者はその理由を添えて知らせることができます。ただし、編集委員会はこの希望に拘束されません。なお、提供された情報は公開しません。

## 9. 改訂稿を投稿する際の注意点

- 1) 査読者のコメントに対する回答は、各査読者のコメントごとに、どのように訂正したかがわかるように記述してください。さらに、改訂稿には前回からの変更箇所を赤字で示してください。
- 2) 改訂稿は1週間以内に投稿してください。それ以上の期間を要する際には、理由を編集事務局に連絡してください。連絡なく改訂期日を超過した場合には「取下げ」として処理する場合がありますので注意してください。

## 附録 参考文献の記載について

「生物医学雑誌への投稿のための統一規定(2010年改訂版)」は、医学雑誌編集者国際委員会(International Committee of Medical Journal Editors) および米国医学図書館(NLM) がとりまとめた統一規定であり、書誌情報の記載方法は「NLM Citing Medicine 2<sup>nd</sup> edition」(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/>) に、様々な情報源の種別、メディアごとに記載された例に従うことが推奨されている。Index Medicus が採用している雑誌の略称は NLM の Web サイト(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>) で確認することができる。

以下には、代表的な情報源ごとの例を示す。各項目の区切りは半角のカンマまたはピリオドを用いること。下記に例がない場合は、上記 NLM Citing Medicine 2<sup>nd</sup> edition で確認することができる。

### 1 原著、総説

原則： 著者名. 表題. 雑誌名. 出版年; 巻(号): 開始ページ-終了ページ.

インターネット上に公開されている情報では、URL, 参照年月日, doiなどを記載する。

- 1) 串畑 太郎, 山本 祐実, 西川 智絵, 他. 多変量解析を用いた学修成果の検討—早期臨床体験におけるアンケートの解析—. 薬学教育. 2017; 1: 2017-001. doi: 10.24489/jjphe.2017-001.  
著者名 (姓と名の間に半角スペースを入れる/4人目以降は省略) 表題 (最後にピリオドをつける)  
雑誌名 出版年 巻 ページ情報 doi  
(和名雑誌名は略さない)
- 2) 半谷 眞七子, 松葉 和久, 松井 俊和. 薬学生の臨床コミュニケーション教育の評価としての客観的臨床能力試験 (OSCE) の試みとその評価. 医療薬学. 2005; 31(8): 606-619.  
著者名 表題  
雑誌名 出版年 巻(号) 開始ページ-終了ページ
- 3) Elmore L, Skelley J, Woolley T. Impact of adapted team-based learning methods on student self-assessment of professionalism, teamwork, and skills in a self-care course. Curr Pharm Teach Learn. 2014; 6(4): 488-493.  
著者名 (ファーストネームはイニシャルにする) 表題  
雑誌名 出版年 巻(号) 開始ページ-終了ページ  
(略した後にピリオドは不要。最後の区切りのみ)
- 4) Giri B, Peesara RR, Yanagisawa N, et al. Undergraduate laboratory module for implementing ELISA on the high performance microfluidic platform. J Chem Educ. 2015;92(4):728-732. Available from: <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4457339/>. doi: 10.1021/ed4009107.  
著者名 (4人目以降は省略) 表題  
雑誌名 出版年 巻(号) 開始ページ-終了ページ  
URL doi

### 2 書籍

#### (1) 一部を参照する場合

- 1) 工藤 一郎. ‘薬学’21世紀日本への発信—日本学術会議薬学系三研連合同シンポジウム—. 鶴尾 隆, 桐野 豊, 工藤 一郎, 辻 彰編, 東京: エルゼビア・ジャパン; 2004. p. 60-67.  
該当部分の著者名 書籍のタイトル (最後にピリオドをつける) 編集者  
発行地 出版社 出版年 開始ページ-終了ページ

(2) 全体を参照する場合

- 2) Seldin P, Miller JE, Seldin CA, et al. The Teaching Portfolio: A Practical Guide to Improved Performance and Promotion/Tenure Decisions (4th ed.). San Francisco, CA: John Wiley & Sons, Inc.; 2010.  
著者名 (イニシャルは first name, middle name の順) 書籍のタイトル (最後にピリオドをつける)  
発行地 出版社 出版年

3 インターネット上の資料や情報

原則： 公開元, 資料の名称, URL, 参照年月日 (最終アクセス日付), doiなどを記載する.

- 1) 薬学実務実習に関するガイドライン[Internet]. 文部科学省 薬学実務実習に関する連絡会議; 2015年2月  
Web ページのタイトル, 資料名 (最後に[Internet]をつける) 資料・情報の提供者名 公開年月日 (および更新年月日)  
(参照 2016年5月31日) http://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chousa/koutou/058/gaiyou/1355408.htm  
参照年月日 URL  
(最後にアクセスした年月日)
- 2) Barr H, Low H. Principles of Interprofessional Education [Internet]. Fareham, UK: Centre For The Advancement Of Interprofessional Education; 2011 Jan [cited 2016 Jun 27]. Available from: http://caipe.org.uk/resources/principles-of-interprofessional-education/.  
資料提供者 (著者) 資料名 (最後に[Internet]をつける) 機関所在地 資料を提供している機関名  
公開年月日 参照年月日 URL  
(および更新年月日) (最後にアクセスした年月日)



## 臨床試験及び臨床研究に係る利益相反(COI)自己申告書

京都岡本記念病院 院長 殿

申告者名:

所属・職名:

研究課題名:

申告区分:  新規申請  継続申請

項目	該当の状況	有であれば、企業名などの記載
① 団体の役員、顧問職、社長などへの就任 ※ 1つの企業等からの報酬が100万円以上の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
② 株保有 ※ 1つの企業からの年間利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上を所有する場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
③ 特許権などの使用料 ※ 100万円以上の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
④ 講演料 ※ 1つの企業・団体からの合計が50万円以上の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
⑤ パンフレットの執筆などに対する原稿料 ※ 100万円以上の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
⑥ 受託研究・共同研究費・奨学寄附金 ※ 1つの研究に対して200万円以上、奨学金については、1つの企業等から1名の研究者に対して支払われた額が100万円以上の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
⑦ 寄付講座所属 ※ 該当する場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
⑧ 旅費や贈答品などの報酬の受領 ※ 1つの企業等から合計10万円以上の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
⑨ その他	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

私の研究に係る利益相反に関する状況は、上記の通りであることに間違いありません。

報告日(提出日):

申告者署名(直筆):